

平成29年度 学校教育自己診断集計結果

A：よくあてはまる
 B：ややあてはまる
 C：あまり当てはまらない
 D：まったく当てはまらない

【生徒回答】

	診 断 内 容	A	B	C	D	A+B
1	学校に行くのが楽しい。	36.9%	37.7%	15.6%	9.0%	74.6%
2	先生は生徒の意見を聞いてくれる。	40.2%	42.6%	13.1%	3.3%	82.8%
3	授業はわかりやすく楽しい。	28.7%	47.5%	18.0%	4.9%	76.2%
4	教え方に工夫をしている先生が多い。	38.5%	43.4%	14.8%	2.5%	82.0%
5	先生は、いじめについて私たちが困っていることがあれば真剣に対応してくれる。	32.8%	38.5%	19.7%	5.7%	71.3%
6	担任の先生以外にも保健室(ほけんしつ)や相談室等で、気軽に自分が気になることについて話ができる先生がいる。	34.4%	34.4%	17.2%	10.7%	68.9%
7	学校生活についての先生の指導は納得できる。	33.6%	33.6%	18.9%	12.3%	67.2%
8	授業や総合学習で将来の進路や生き方について考える機会がある。将来の進路や生き方について考える機会がある。	41.8%	34.4%	16.4%	5.7%	76.2%
9	文化祭は楽しく行えるよう工夫されている。	47.5%	38.5%	9.0%	4.1%	86.1%
10	体育祭は楽しく行えるよう工夫されている。	40.2%	41.8%	10.7%	5.7%	82.0%
11	命の大切さや社会のルール、人権について学ぶ機会がある。	39.3%	41.8%	9.8%	7.4%	81.1%

【保護者回答】

	診 断 内 容	A	B	C	D	A+B
1	子どもは学校へ行くのを楽しみにしている。	37.8%	48.6%	5.4%	8.1%	86.5%
2	先生は子どもを理解している。	45.9%	35.1%	10.8%	2.7%	81.1%
3	子どもは、授業がわかりやすく楽しいと言っている。	10.8%	59.5%	16.2%	8.1%	70.3%
4	子どもの学習内容に満足している。	16.2%	56.8%	18.9%	5.4%	73.0%
5	学校は、いじめについて子どもが困っていることがあれば真剣に対応してくれる。	37.8%	43.2%	10.8%	5.4%	81.1%
6	気になる事柄について先生に相談しやすい。	48.6%	37.8%	5.4%	8.1%	86.5%
7	学校の生徒指導の方針に共感できる。	32.4%	54.1%	8.1%	2.7%	86.5%
8	学校は将来の進路や職業などについて適切な指導を行っている。	51.4%	40.5%	2.7%	5.4%	91.9%
9	学校の授業参観や学校行事に参加したことがある。	10.8%	24.3%	21.6%	43.2%	35.1%
10	学校は、教育情報について、提供の努力をしている。	29.7%	48.6%	5.4%	10.8%	78.4%
11	学校は子どもに生命を大切にする心や社会ルールを守る態度を育てようとしている。	32.4%	48.6%	10.8%	5.4%	81.1%

【教員回答】

	診 断 内 容	A	B	C	D	A+B
1	学校の教育活動について教職員で日常的に話し合っている。	50.0%	45.0%	5.0%	0.0%	95.0%
2	教育活動全般にわたる評価を行い、次年度の計画に生かしている。	35.0%	65.0%	0.0%	0.0%	100.0%
3	年間の学習指導計画について、各教科で話し合っている。	35.0%	45.0%	20.0%	0.0%	80.0%
4	本校では、到達度の低い生徒に対する学習指導について、全校的課題として取り組んでいる。	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%	100.0%
5	本校では、カウンセリングマインドを取り入れた生徒指導を行っている。	30.0%	70.0%	0.0%	0.0%	100.0%
6	学校は、いじめについて子どもが困っていることがあれば真剣に対応してくれる。	30.0%	55.0%	15.0%	0.0%	85.0%
7	教育相談体制が整備されており、生徒は学級担任以外の教職員とも相談することができる。	85.0%	15.0%	0.0%	0.0%	100.0%
8	生徒一人ひとりが興味・関心、適性に応じて進路選択ができるよう、きめ細かい指導を行っている。	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%	100.0%
9	学校行事が生徒にとって魅力あるものとなるよう、工夫・改善を行っている。	65.0%	35.0%	0.0%	0.0%	100.0%
10	教育活動において、生徒が命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会をつくるよう配慮している。	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%	100.0%
11	教育活動に必要な情報について、生徒・保護者や地域への周知に努めている。	45.0%	45.0%	10.0%	0.0%	90.0%
12	学校経営に、教職員の意見が反映されている。	5.0%	75.0%	10.0%	5.0%	80.0%
13	生徒の障がいや実態の多様化に対応した適切な教育活動をおこなっている。	35.0%	60.0%	0.0%	0.0%	95.0%
14	学校（担任）は保護者と密接な連携がとれている。	40.0%	60.0%	0.0%	0.0%	100.0%
15	学校は授業力向上のための校内公開授業等を積極的に推進し、また教員相互の授業を検討する機会を持ち、教材や指導方法など授業改善に取り組んでいる。	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%	100.0%
16	コンピュータ等のICT機器が、各教科の授業などで活用されている。	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	100.0%
17	学校は体罰やセクシャルハラスメントの防止をはじめ、個人情報管理などすべての教育活動において人権尊重に基づいた指導が行われている。	30.0%	65.0%	5.0%	0.0%	95.0%
18	学校（教員）は組織として「報告・連絡・相談」が徹底されている。	40.0%	60.0%	0.0%	0.0%	100.0%
19	教員間の相互信頼があり、意見を率直に言える環境、雰囲気である。	25.0%	55.0%	15.0%	5.0%	80.0%

分析・検討事項

回答の(A+B)を肯定的回答とし、その割合を中心に分析・検討を行った。

【生徒】

- ・ (設問3)「授業は、分かりやすく、楽しい。」が5ポイント上昇。授業へのICTの活用や学校目標でもある「分かりやすい授業」の取り組みの成果が出ている。
(設問6)「担任の先生以外にも・・・自分が気になっていることについて話ができる先生がいる。」は、設問を「相談することができる」→「自分が気になっていることについて話ができる」に変更し生徒に分かりやすい表現に変更した。
 - ・ 全体では6%上昇した。1年生について、特に入学当初から、教員やSC等を活用して見守る体制を再検討する。4年生は、(設問2)が低いことが影響している可能性がある。
- ・ (設問8)「授業や総合学習では進路や生き方について考える機会がある」が5ポイント上昇。4年が顕著に低い。昨年度も同じ学年が低かった。放課後等の個別指導は、進路指導部で行っているが、教科指導内で考える機会を増やすよう検討する。学校目標でもある「進路確保」の取り組みの成果が出ている。
- ・ (設問11)「命の大切さや社会のルール、人権について学ぶ機会がある。」は80%を超えた。人権HRや交通安全講習など外部講師が講演する機会において、生徒は聞く姿勢ができておりアンケート等からも自分の考えを咀嚼できている。

【保護者】

- ・ 回答数が37名となり、未成年の保護者の1/3程度の回答率であり、昨年(20名)より大幅に増えた。保護者の学校への関心が高まったと考えられ
- ・ (設問1)「子供は学校へ行くのを楽しみにしている。」が18ポイント上昇した。「分かりやすい授業」や例年行う各行事がマンネリしないように工夫を行っている成果が出ていると感じる。
(設問2)「先生は子供のことを理解している」では、14ポイント減少し、(設問6)「気になる事柄について先生に相談しやすい。」(設問7)「学校の生徒指導の方針に共感できる」で7ポイント上昇した。これらの設問は同じ傾向を示すことが多いが本年度は相関がみられない。H28の(設問2)の値が特異点である可能性が大きい。保護者の担任などへの信頼は高いと考える。1年生は他学年に比べて肯定率が低いため、生徒への指導について保護者とコミュニケーションをより一層図る必要がある。
- ・ (設問8)「学校は将来の進路や職業などについて適切な指導を行っている。」で13ポイント上昇した。学校目標でもある「進路確保」の取り組みの成果が出ている。

【教員】

- ・ 総じて自己評価が高い。
- ・ (設問1)「教職員で日常的に話し合っている」の評価が例年並みに回復。来年度以降は、職員会議後に、情報交換を行える機会を検討する。
- ・ (設問4)「本校では到達度の低い生徒に対する・・・」において、9ポイント上昇した。学校目標でもある「分かりやすい授業」の取り組みの成果が出ている。

【全体をとおして】

- ・ 授業に係る項目については、教員、生徒では上昇しているが、保護者において減少した。保護者への授業見学などを通して理解していただくことが必要である。
- ・ 進路にかかわる項目は、生徒、保護者ともに上昇している。学校目標でもある「進路確保」の取り組みの成果が出ている。
- ・ 学校行事等については、教員、生徒、保護者ともに魅力的なものになっていると考えている。しかし、保護者の参加率は低い現状がある。